INVASIVE ALIEN SPECIES
Causes and Impacts
International Day for Biological Diversity Symposium 2009

国際生物多様性の日シンポジウム 2009
『外来種の来た道，行く道』

2009年5月22日（金）
国連大学 ウ・タント国際会議場
東京都渋谷区神宮前 5−53−70

参加申込締切：5月15日（金）
参加費：無料
以下のWEBサイトよりお申し込み下さい。
定員（300名）になり次第、締め切られます。
http://www.unu.edu/reg/lbd/

ポスター発表募集します。
発表申込締切：5月1日（金）
詳細はHPをご覧下さい。

主催：国立環境研究所
国連大学高等研究所
国連大学サステイナビリティと平和研究所
GEIC
環境省

後援：CBD 生物多様性条約事務局
日本生態学会
横浜国立大学 GEOE
ISSG

第一部 「外来種と生物多様性」10時〜11時50分
挨拶 吉野正範国連大学学長（予定）
基調講演 Ahmed Djoghlaf（生物多様性条約事務局長）
岩槻邦男（東京大学名誉教授）
Wojtek Solarz（国際自然保護連合）

第二部 「外来種の現状と将来」13時10分〜17時40分
講演 Fred Kraus（ハワイ・ビショップ博物館）
Sri Sudarmiyati Tjitrosoedirdjo（BIOTROP）
Frank Courchamp（フランス・国立科学研究センター）
金田正人（生物多様性JAPAN）
光戸雅宏（アリスタライフサイエンス株式会社）
五箇公一（国立環境研究所）
水谷知生（環境省自然環境局）
足立直樹（株式会社レスポンスアピリティ）
志村純子（生物多様性事務局）
挨拶 大垣真一郎（国立環境研究所理事長）

（日英同時通訳あり）